

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

● はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、注意事項、使用方法を十分にご理解頂いた上で正しくご使用下さい。又、本製品は間違った使い方をされると、人的障害や物的障害が生じる他重大な事故に発展する恐れがあります。



警告

- 本製品は必ず使用エア一圧 0.62 MPa 以内でご使用下さい。
使用エア一圧が低いと能力不足となり、高いと破損の原因になります。
- 修理技術者以外の方は本製品の分解、修理、改造を行わないで下さい。
- 誤った使用方法により生じた、商品破損、人体または物品への損害、その他のいかなる損害に関しても当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますのでご了承ください。
- 使用前に各部に異常がないかよく点検して下さい。点検を怠ると本体の損傷、破損、ケガをする恐れや事故の原因になります。
- 切削、研磨作業時に火花が発生する場合がありますので、可燃性ガスや液体のある場所では絶対に使用しないでください。
- 本製品に異常を感じた場合は、速やかに使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社までお問い合わせ下さい。
- 本製品を安全に使用する為、保護メガネ、安全手袋、耳栓、安全帽、作業着等の保護具を着用して下さい。
- 作業中、ベルトが高速回転する為、手や指、安全手袋等が巻き込まれないよう十分注意して下さい。
ベルト交換する時は十分に冷めてからエア一の接続を外してから交換を行ってください。
- 作業直後のベルトは高温になっているので火傷の原因となりますので素手で触らないようにして下さい。
- 対象物がしっかりと固定された状態で作業をして下さい。対象物が不安定な状態で作業すると非常に危険です。



注意

- 使用前、使用後は、必ずエアーツールオイルを注入して下さい。
- エアーツールオイルの注入が不十分であると作動不良の原因になります。
- エアーインレットにエアージャックを取り付ける際は、必ずシールテープを巻いて下さい。
- テーパー状のエアージャックは無理に奥まで締め付けしないで下さい。
- こまめにエアーツールオイルを注入する事により本製品を長持ちさせる事が出来ます。エアーツールオイルが切れると、回転時に発生する部品の摩耗、圧縮空気に含まれる水分によって内部の酸化等、本製品の破損の原因になります。
- ベルトが摩耗した状態で使用しないで下さい。ベルトが切れ大変危険です。

●各部名称・使用方法



作業工程に関しては、整備書などを確認し、よく理解してください。
 作業工程が不明な場合は、作業しないでください。

1. エアークラックにシールテープ(別売)を時計回りに巻きつけ、エアークラックに取り付けて下さい。【写真1】
2. レバーを握ると始動します。
3. 角度調整ネジを緩めると本体の角度が動き、ネジを締めるとその位置で角度の固定出来ます。

●ベルト交換方法

1. テンションバーを手で矢印方向に押し込むとロックが掛かりベルトのテンションが緩みます。【写真2】
2. 摩耗したベルトを取り外し、新しいベルトと交換します。
 ベルトを掛ける際、ドライブプーリーの溝に掛けて【写真3】
 アイドルプーリーの幅に合うようセットして下さい。【写真4】
3. テンションロックを押すとテンションバーが伸びてベルトにテンションが掛かります。【図5】

※ロックを解除する時にプーリーとベルトに指等を挟まないようにご注意ください

●点検、メンテナンス

- (1) 使用前、使用後は必ずエアーツールオイルを適量エアークラックもしくは、エアークラックより注入して下さい。
- (2) エアーツールオイルを注入したらエアークラックに繋ぎ空転させて内部にオイルが回るようにして下さい。
- (2) 使用しない時でも、定期的にエアーツールオイルを注入して下さい。
- (3) 本製品を保管する際は湿気のない乾燥した場所に保管して下さい。
- (4) 各部に損傷がないか確認して下さい。

・安全に使用する為、上記の点検作業を使用前や定期的に、必ず実施して下さい。

・異常が確認された場合は、本製品の使用を中止し、お買い求めの販売店までお問い合わせください。

【写真1】



【写真2】



【写真3】



【写真4】



【写真5】

